

会

日本工業技術教育学会

報

日本工業教育経営研究会

平成 18 年 10 月 30 日

第 32 号

研究会並びに学会の発展を祈念して

日本工業技術教育学会 会長
大阪電気通信大学 教授

岩本 宗治

本年 7 月 8 日から、芦屋大学を会場にして開催された「平成 18 年度第 16 回工業教育全国大会」総会において、小林一也前学会長の後任としてご指名を頂きました岩本です。

日本工業教育経営研究会（研究会）並びに日本工業技術教育学会（学会）の会員の皆様には、平素から両会の充実と発展のためにご尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。

何分、浅学非才の私ですので、小林前会長のようにはなかなか参りませんが、研究会並びに学会の発展のために粉骨砕身、努力いたす所存であります。引き続き皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、研究会の発足は、平成 3 年 7 月 6 日であり、第 1 回の総会は、JR 池袋駅近くの早稲田電子専門学校において、小林先生を中心に東京の先生方のご先導により、全国各地域を代表する工業高校の現役及び OB 校長のご出席の下に盛大に開催されました。当時私は、教科調査官の任にあって、平成元年 3 月告示の学習指導要領の伝達に追われていた時期であり、研究会の皆様にご力強くご支援を頂いたことを今でも記憶しています。

一方、学会については、平成 5 年 7 月 3 日に会則が制定され、会長の小林一也拓殖大学教授の下に、全国の工業教育に関与する大学教授や工業高校長等を会員にして発足されました。本学会の目的は、会員の工業技術教育に関する研究を促進し、合わせて関係機関等との連携を深め、実践的技術者の教育を

目指す工業技術教育の振興に寄与することとされています。

本学会の大きな事業である研究論文集「工業技術教育研究」の発行については、現在、中村豊久編集委員長と東京工業大学附属科学技術高等学校内の事務局の方々のご尽力により、充実した学会誌が発行されています。

工業高校の先生方の投稿も増えてきていることは大変心強いことです。

本学会は、発足以来、学校経営、教師の資質、教育内容、教育方法、学校と企業内教育、学校と教育行政、比較教育等の分野において数々の成果を上げてこられました。

最近では、文部科学省の科学研究費補助を活用し、大阪市立大学の矢野裕俊教授を研究代表者とする「知の創造・活用を目指す体験的教育の開発に関する総合的国際的比較研究」の研究協力者として研究会・学会に属する多くの先生方が参画されたことは、画期的なことであり、両会の存在を大きく世に知らしめたことになるでしょう。

来年度開催予定の「平成 19 年度第 17 回工業教育全国大会」は、近畿支部が主管し、私の所属する大阪電気通信大学寝屋川キャンパスを使って頂けるようです。皆様方のご出席をお待ち申し上げます。

